

議 事 録

会 議 名	第7期第5回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和3年6月29日(火) 午後3時 ～ 午後5時		
開 催 場 所	町民センター3階講義室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員 杉下会長, 落合副会長, 半澤委員, 安江委員, 上山委員, 山下委員 大久保委員, 竹森委員, 高崎委員, 庭野委員, 平本委員, 菊地委員</p> <p>○欠席委員 大関委員, 相田委員, 金子委員, 井村委員</p> <p>○事務局 戸村町民部長, 岡野町民協働課長, 越原副主幹, 清田主事</p> <p>○傍聴者数 2名</p>		
議 題	<p>(1) 寒川町協働事業選考委員会委員の推薦について</p> <p>(2) (仮称) いまここマップの作成について</p> <p>(3) 寒川町まちづくり懇談会(案)について</p>		
決 定 事 項	<p>1 議事録承認委員: 竹森委員, 高崎委員</p> <p>2 寒川町協働事業選考委員会委員 : 杉下会長, 半澤委員, 上山委員</p>		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合 その理由(一部非公開の場合を含む)	
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 新任委員自己紹介</p> <p>5 議事録承認委員の選出</p> <p>【事務局】まちづくり推進会議では、当日の出席委員のうち、名簿の上から順に持ち回りで議事録承認委員を指名しております。前回は書面会議でしたので、前々回に議事録承認委員を務められた8番元自治会長千葉委員、及び9番元商工会推薦武藤委員に続きまして、10番竹森委員、及び11番高崎委員を御指名したいと思いますが、異議はございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>【事務局】それでは、竹森委員、高崎委員、御承諾いただけますでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p>		

【事務局】ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録承認委員は竹森委員と高崎委員といたします。以降の議事進行につきましては、寒川町まちづくり推進会議規則第4条の規定により、杉下会長にお願いいたします。

6 議題

(1) 寒川町協働事業選考委員会委員の推薦について (資料1)

【杉下会長】議題1につきまして御説明をお願いします。

【事務局】-資料1に沿って説明-

【杉下会長】協働事業選考委員会委員の推薦依頼が来ております。我こそはという方、いらっしゃいますか。

(挙 手 無 し)

【杉下会長】事務局で腹案があれば御提示ください。

【事務局】今回は杉下会長に加え、公募委員から2名の御推薦をお願いしたいと思います。11月に中間報告をする事業は、昨年8月の選考委員会で採択していただいた事業ですので、事業の選考に充たりました半澤委員に引き続き御担当していただく事が御適任かと存じます。また、もう1名は可能であれば女性の方をお願いしたく、団体活動等の御経験が豊富な上山委員を御推薦願えればと思います。

【杉下会長】本来であれば落合副会長をお願いしたいところですが、今回は提案される側ですので、私、半澤委員、上山委員の3名を協働事業選考委員会委員に充てたいとの意見がありました。よろしければ拍手をお願いいたします。

(拍 手)

【杉下会長】確定をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。それでは議題2につきまして、事務局より、御説明をお願いします。

(2) (仮称) いまここマップの作成について (資料2)

【事務局】-資料2に沿って説明-

【杉下会長】当日配付資料として、第5回会議意見提出書が机の上に置いてあると思います。これについて、上山委員から補足や御説明があれば、最初にお伺いしてから議題に入りたいと思います。

【上山委員】わざわざプリントしてくださりありがとうございます。マップそのものは大分見やすくなり、とても良くなったと思います。ただ、肝心のいまここマップが小さいので「2、計画の概要」を2ページ目に回し、空いた1ページ目のスペースにいまここマップを広げる事で、マップ内の文字を見やすくとおっしゃっていました。次に、具体的な利用の仕方については、パブリックコメントのチラシと一緒に配布するもよし、いまここマップを画像にして町ホームページやツイッターに「今、こんな感じで計画が進んでいます」と分かるように掲載しても良いと思います。計画が進む都度、画像を差し替え、更新日も記していただきたいです。併せて、画像を差し替えた事をきちんとSNSでお知らせすると良いと思います。可能であれば、町の広報紙に簡易版を載せると良いと思います。また、ホームページに現在進行中の町の計画一覧ページを新しく作ると良いと思います。計画一覧内の、各計画名の下あたりに五つ星等で、進行度合いが分かるようにし、計画名をぼちっと押すと、各計画のいまここマップが見られると良いと思います。以上です。

【杉下会長】ありがとうございます。今回から入った大久保委員と高崎委員にも、今までの経緯について、事務局から説明があったかと思うのですが、簡単に説明いたします。町の計画等を進める中で、アンケートやパブリックコメント等を実施するのですが、ある程度計画が仕上がった最終確認の段階でのアンケートに「最初から作り直しましょう」というような意見が出て話がかみ合いません。そこで計画の進行具合を見える化し、今、どのような意見を提案すべきなのか、分かるようにしようと議論しているところです。いまここマップも初めてご覧になると思うので、パッと見てのご感想やご意見を遠慮なくご発言いただければと思います。ほかにご意見やご質問があればお願いをいたします。安江委員、どうぞ。

【安江委員】今回、大分見えるようになってありがたいですが、まだ少し分からないところがあります。まず、いきなり第5次さむかわ男女共同参画プランが出てきたのですが、なぜそれが出てきたのでしょうか。次に、既に名称がいまここマップと決まっているようですが、なぜいまここマップになったのか。名称の決め方も大事だと思うので、その考え方を伺いたいです。最後に、皆さんの意見のところ、既にアンケートの仕方等も

決まってしまうのですが、これは何に基づいて決めているのか伺いたい。

【杉下会長】事務局、3つ質問がありましたので、順番によろしいですか。

【事務局】まず、男女共同参画プランを例にしなければいけないわけでは無いです。機構改革前の協働文化推進課が男女共同参画プランを扱っていたので、例としてこちらをお示しいたしました。次に、名称については、いまここマップに決定したわけではないので、皆さまからアイデアをお出しいただき、良い名称を考えていけたらと思います。最後に、意見聴取の方法については、あくまで事例としてお示しただけで、全ての計画においてアンケートの郵送を実施しているという事ではないです。

【杉下会長】よろしいですか、安江委員。

【安江委員】ありがとうございます。まず、さむかわ男女共同参画プランは事例としてあげてもらったという事で良いですね。ありがとうございます。次に、今、施策がどのように流れているのか見える、見えないという事を、町民の方がそもそもあまり意識していないと思います。意識してもらうにあたって、名称を考えるプロセスに、町民を介入すると良いと思います。「施策の見える化ができましたよ。こういう形で考えていますので、町民の方にも知ってもらいたいです。皆さんで名称を考えませんか」というような町民を巻き込むプロセスを入れていただけるとありがたいかなと思います。最後に、意見の取り方は、おそらく施策によって変わってくると思うのですが、アンケートの数をどうするか、公募委員をどうするか、パブリックコメントを行うか等も巻き込んだ形でできると非常によろしいのではないかと思います。

【杉下会長】一回ここで切らせてもらって良いですか。

【安江委員】はい、どうぞ。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】パブリックコメントには、パブリックコメントの規則があり、そこで、用紙の配架場所や配架期間に関する取り決めをしております。このことについては、事例ごとに個々に決めていくものではなく、規則で定まっているものになります。審議会の公募についても規則があり、そこで人数等の条件が定まっております。

【安江委員】ありがとうございます。確かに条例で決まっている事もあると思います。しかし、必ずしもパブリックコメントを取らなければいけないかというところ、そこは定められていないと思うので、意見聴取を行うにあたってのプロセスが決まっていますかという質問だったのですが。それは条例で決まっていることなので変えませんと聞こえたのですが、そういう認識であっていますか。

【事務局】パブリックコメントにかける案件の条件については、パブリックコメントの規則の中で定めております。基本的にこういう事はパブリックコメントにかけますという基準が、パブリックコメントの規則にあるとお考えいただければと思います。

【安江委員】ありがとうございます。基準がある事は知っていますが、その基準がマストではなかったと思います。この中から選択しなさいといった自由度があったはずなので、そういう点を議論してもよいのではという話だったのですが。そこに関して、町側としてはその基準に従う事しか、基本的には考えていませんという回答でよろしいですか。

【事務局】繰り返しになりますが、パブリックコメントの規則の基準に則ってパブリックコメントにかけるか否かは決めていくものであるという回答でよろしいでしょうか。

【安江委員】施策について、どの段階でパブリックコメントやアンケート等をしますというのは決まっていなくて、以前、おっしゃられていたと思います。そのため、そこを決めていきませんかというのが今回の提案だったのですが、今のお答えだと、そこは条例の中の基準に基づいて決めますという回答に聞こえたのですが、本当にそうですか。

【杉下会長】事務局、どうぞ。

【事務局】パブリックコメントにつきましては規則で定められたものがありますので、それに則って行っております。アンケートを行う、行わないは、確かに自由度がまだあります。ただ、それをこの会議内で決めるかというのは、今の段階ではお答えできません。

【安江委員】お答えできないではなくて、それを論議しませんかという話をしているのですが。今度、それが論議できるように、今のパブリックコメントの基準や、アンケートを設定する施策に対してどういうものを決めますという情報をいただけますか。それで次に論議させていただきたいと思います。

【事務局】分かりました。アンケートについては、できるものとできないもの、また、期間等もありますので、柔軟なお答えができるか分かりませんが、検討してみます。

【安江委員】ありがとうございます。今の形で良いです。今、決まっているものがあるとおっしゃられていたではないですか。町側では決まったものがあるのだから、まずはそれを開示していただかなくては。皆さんだって、それが分からないのに議論できないと思います。

【杉下会長】今、資料がないと思うので、次回の会議のときに参考資料として、こういうタイミングでこういうふうにアンケートをやります等が定められている内規をお示しいただければと思います。ほかにご意見やご質問があればお願いをいたします。半澤委員、どうぞ。

【半澤委員】先ほど、これはあくまでも例だとおっしゃりましたが、例えば「令和元年にアンケートをやりました」「公募委員は集まりませんでした」等の記載事項は、事実に基づいたことなのですか。あるいは、例として作っているものでしょうか。令和3年現在、この計画は開始していると思うので、せっかくこれを例とするなら、この計画の実態がある程度わかるようにしてくれないと、議論がしにくい。マップの流れはそこそこ良いと思うが、実際に運用した際の分析がされていないと、ただ流れが分かるだけのマップになってしまい、いまいちだと思いました。

【杉下会長】事務局、これは実際のタイムスケジュールで良いのですよね。

【事務局】ほぼ当時の流れのタイムスケジュールだと思います。

【杉下会長】補足すると、多くの計画は、令和3年度から実際にスタートします。その前2年間で議論を行い、計画を作り、改定するので、その2年間の流れを見える化する目的で今回マップを作っています。例として示せる計画は、さむかわ男女共同参画プラン、総合計画、環境基本計画等、いろいろあります。

【半澤委員】要は例だということですよ。

【杉下会長】そうです。

【半澤委員】これから始まる計画があれば、それを例としたほうが手っ取り早いと思います。次に考えられているプランは、実際にスタートするのは3年越しかもしれませんが、具体的に今進んでいる計画について真剣に考えた方が良いと思います。当面、展開する計画がなければ別に良いのですが。

【杉下会長】寒川町には総合計画やプラン、審議会等も含め、全てが用意ドンで令和元年から始まっているわけでは無く、時期によってもバラバラで何十本とあります。その中でも、半澤委員は、令和3年から準備し、令和5年から計画自体がスタートするものを例としたほうが見やすいよ、というご意見ですね。

【半澤委員】見やすいというか、真剣にやれると思います。過去に終わってしまったものよりも、これから展開する内容を作ったほうが、内容についてもちゃんと分析しながらやると思うのです。例えば、アンケートを1,000人からとった結果や、3名公募したのに応募者が出なかった原因も知り、もう少し身を入れて取り組みたい。例えば、公募をちゃんと集まれるようにしよう、内容をみんなに分かるようにしよう等、目的があれば、もっと良いと思うのです。このマップを、単なるフローチャートとして、このフェーズでまだ意見を出せますよというだけのために使うのであれば、これで良いと思います。ただ、もう少し展開したうえで、ちゃんとこの計画に、たくさんの人を関与させて盛り上げるのであれば、もう少し補足等ないと。

【高崎委員】内容はまだどうでもいいと思います。このマップを町民が分かりやすいように作り、どのように運営していくかという段階なのかなど。それに合わせてプロセスがあり、これを作る為にアンケートやパブリックコメント等を付け足していくという話だと思います。つまり、内容云々はその後についてくる事であり、このマップをどれだけ町民の人たちに見てもらえるかという話だと思います。私だったら、申し訳ないですが、細かいし、書いてある内容も難しいので、このマップを出されても見ないと思います。町民が見て少しでも興味を持てるように文字でなく、図案等を使い作るべきかと。いかがでしょうか。

【山下委員】全く私も同感です。以前、書面会議があったときに、「いまだこマップ？」とってしまうとお伝えしました。高度なお話し合いで、なるほどと思いますが、本当にいろんな事に取り紛れて生活している方たちは、いまこマップと言われても、流れを大まかに理解する程度だと思います。

【安江委員】今、お互いにすごく良い事を言ってくださっているなと思っています。半澤さん、高崎さん、山下さんが言った事は、上段のところであまり違いがないと思います。まず、見やすさのところは当然やらなくてははいけません。併せて、その確認というのはステップごとに入れなければいけません。1回マップを作って、フォーマットができ、終わりではないのです。実際、次のステップでは、フォーマットも全然変えないといけないと思います。半澤さんのおっしゃったように、運用し、実際のステップに合わせて揉んでいくとすごく良いと思います。今流れている施策の中でも、住民が気になる大きなアイテムを重ねてマップを見ると、町民が見る確率も上がりますし、得ら

れるフィードバックも増えると思います。つまり、見やすさとステップの管理、両面をやっていけばよいのではないのでしょうか。

【菊地委員】おそらく、日常生活の中で、自ら情報を得る機会には、例えばP T Aなら給食の事等、当事者に関わる事でないとなかなかないと思います。例えば、ここでアクションを行っても、次にまたなにか機会があるのかどうかというようなコンテクストを、当事者がタイムラインの中で理解できる事が求められています。あるいは、こういったものは、いろんなレベルのものが走っていて、それを例えば何個か見た場合に、プロジェクトマネジメントのポートフォリオのようなものが、町の中でこういうものが動いているのだという事に何かの機会に触れるように、俯瞰性と、上山委員がおっしゃっていた視認性という意味では、非常に重要だと思い、こういったものがあれば分かるようになると思います。安江委員がおっしゃっていたとおり、半澤委員、山下委員、そして高崎委員がおっしゃっていた事は全くその通りであり、初めの一步で入った以降にどうやって興味を持って見てもらうかというのは、安江委員がおっしゃっているのは、全くそのとおりだと思います。こういったものが、説明責任、あるいは情報公開として、誰も興味を持っていなくても、それが粛々と、行政が果たすべき役割、説明責任として行っていくことが重要だと思います。例えばいまここマップというのが複数走っているものが見えたら、私が町長だったら、今、寒川の中で何が動いているのか、非常に俯瞰性を持って理解できると思います。あと、いまここマップは分かりやすいイメージとして申し上げたつもりなのですが、良い名称、他に変わりの名称があったほうが良いのかなと思います。

資料2の、プロトタイプとして考えた場合に、左側の、計画の策定、準備開始、現状分析、審議、意見を伺います、議会、計画開始という、これらが標準的なP D C Aのプロトタイプの流れだと思います。現状分析にあたって、例として挙げられている男女共同参画プランは、計画の特性上、町民の男女共同参画に対する意識が、第4次までの間にどのように変化したのか把握するためにアンケート郵送で意見聴取しているのだと思います。意見聴取の方法も、必ずしもアンケートというわけではないと思います。安江委員のお話を伺い、男女共同参画プランのように第1次から4次までの過去の流れがあり、実績評価を行ってきたうえでの第5次に関わるよりも、まっさらなものから計画を作っていくときに、どのような現状分析の仕方が良いのか、一番最初の取っかかりのプロセスから、推進会議に相談をしてもらうというような形での現状分析のやり方が良いのかなと。長くなりました。

【杉下会長】ほかに何かご意見はございますか。事務局は特にはないですか。過去の経緯を振り返りますと、パブリックコメント、住民説明会、審議会、eマーケティングリサーチ、まちづくり懇談会等いろいろありますが、どのタイミングでどういう提案をすればいいのか、一つ一つの計画ができるまでの時系列を見える化するために、菊地先生の御提案から、いまここマップができました。時系列を見える化することで、こんなタイミングで、こういうものに対しての意見を言った方が、より意味があるということが分かりやすくなります。先ほど、安江委員がおっしゃったように、最終的に分かりやすい名称があれば、菊地先生もこだわらないとのことなので、変更もありだと思います。どのタイミングでいえば、より意味のある効果的な発言や提案になるのかが分かる、時系列マップのようにとらえていただければ良いかと。安江委員、半澤委員がおっしゃったように、アンケートの出すタイミング等作りこむべきとのお話がありました。これはまた別の議論になると思います。ここではあくまでも時系列やタイミングが分かりやすいマップのたたき台というように御理解いただけると、ひとつありがたいかなと思います。高崎委員が言ったように、いろいろごちゃ混ぜにしていると、私も見たくないとなるので、もっとシンプルに分かりやすくしたら良いかと。このような感覚的なご意見でも良いですし、他にご意見等あれば。平本委員、どうぞ。

【平本委員】私もよく分からないのですが、マップには令和3年ぐらいまでしか記載がなく、過去の事ですね。半澤委員がおっしゃったように、終わった事をあれするよりも、これからの事をもう少し具体的にやったほうが良いと思います。公募委員の部分はどう見るのですか。

【杉下会長】事務局、良いですか。

【事務局】さむかわ男女共同参画プランは、機構改革前の協働文化推進課のものだったので、例にあげさせていただきました。この図は、いまこのところという意味かと思うのですが、要はさむかわ男女共同参画プランという、令和3年から始まる計画があり、その前の2年で、こういう過程があり、その途中の段階の、今ここにいますよということを示しています。公募委員も公募したが、応募が無く、再度公募をかけているという状況を示しています。

【事務局】補足なのですが、これはあくまでも例として提示しているだけですので、今どの段階にいるのかを分かりやすく表にしたものです。それで、いまここですという矢印を載せておりますので、もちろん過去の事なのですが、こういうふうにしたら現在の場所が見やすいですよという、そういう意味のマップですので、今後活用する際には、もちろん、いまここというのが、今日であれば令和3年6月というところになります。そ

ういうふうに皆さんに分かりやすくお伝えするためのマップを作成しているところです。これは本当にあくまでも例としてお載せしたので、過去のものになっております。

【高崎委員】なるほど。内容云々ではなく、表を分かりやすくするために例を挙げているという事ですよ。

【杉下会長】そうです。

【高崎委員】ただそれだけですよね。

【杉下会長】はい。

【高崎委員】別にこれが進行している云々等ではなく、表の例ですね。

【杉下会長】そうですね。骨格がこうですよ、これがほかの計画等、時期がずれて名称が変わるだけの話で。山下委員。

【山下委員】全く不思議だったのは、令和2年の事がずっと載っているという事で、今、何年だっけというふうに思い、もう終わりだと思ってしまったのです。あくまでも前々年度の例としてこういう事を挙げてくださったという事ですね。

【杉下会長】そうです。

【山下委員】そのところが分からなかったものですから。果たしてどこに注目したら良いのだろうと思っておりました。

【竹森委員】先ほど高崎委員が言ったように、これは一例ですけれども、やはり最終的にこれを見る人は町民なので、私たちが理解できるものを作るのではなくて、町民が分かるものを最終的には作っていかなくてはと思います。私たち企業で働く者もPDCAを回して、現状把握をしているのですが、例えばこの現状把握でアンケートをしたときに、やはりその原因分析の結果をしっかりと振り返り、一つ一つ、そこも内容を開示したほうが良いのかなど。アンケートの結果はこうでした、公募委員が集まらなかったのはこういう理由でしたという事についても、やはりしっかりと論議していき、次につなげていくべきかと思っています。以上です。

【杉下会長】事務局、アンケートの結果に関しては、この審議会のほうで報告していますよね。アンケートの結果に関しては、ホームページ等に上げてはいないんですよ。

【事務局】おそらく、それぞれの計画の中で上がっているはず
です。御希望があれば、いまここマップから、アンケート結果
のページに飛ぶような作り方はできると思います。

【杉下会長】公募委員の集まらなかった理由までは特に公表し
ていませんよね。この推進会議の1回目に、町から、公募委員
の募集をかけても定員に満たない審議会等がいくつもある。そ
れに対して、現状、広報さむかわやホームページ等で募集をか
けてもなかなか集まらないので、より多くの方にご参加いた
だける機会を知ってもらう手法として、新たな方法があれば、併
せて提案をしていただきたいとお示しいただいているので、既
存のやり方だけではなくて、一般的にはSNSの利用や、資料
の配架場所等に関するご意見も付していただけると良いかと。
加えて、町に意見を提案するツールは増えているが、ちゃんと
データをとったわけでは無いが、相対的に町に上がる意見数は
変わっておらず、結果としてツール一つ一つのベースの意見数
は下がっていると思う。つまり、ツールの数が多ければ良いと
いう事でもないので、パブリックコメントをうまく活用しても
らいたい。推進会議の回数も限られているので、まずは、時系
列的などころを軸に、一つマップを形にしたらどうでしょうか。
ほかのタイミングで、時系列以外のご意見を整理する機会は設
けたいと思いますので、そこらへん誤解のないようによろしく
お願いいたします。ほかにご意見等ございますか。半澤委員。

【半澤委員】さむかわ男女共同参画プランには基本目標が4項
目あるが、もう少し具体例を出して分かりやすくしないと、公
募は来ない。何か1つでも2つでも例を書かないと、幾らきれ
いなフォーマットができて私は興味ないという人が出てくる
と思います。基本目標はこれで良いが、もう一つかみ砕いた例
で、食いつきを良くしてはどうでしょうか。

【杉下会長】基本目標、基本理念、基本的な考えは、さむかわ
男女共同参画プランの審議会で議論していただく話だと思いま
す。今は、どのタイミングでどの意見を言った方が良いのかと
いう時系列的などころに関して、いかに分かりやすさをグレー
ドアップさせるのかということだと思います。

【半澤委員】それは十分承知の上だが、それだけでは少し駄目
だと思う。基本理念、基本目標だけだとどういう意見を言えば
良いのか分からず、せっかくマップが良いものになっても、公
募の応募人数を増やす事にはつながらない。

【杉下会長】具体的にどこを議論したいとお考えですか。

【半澤委員】いまここマップの流れを分かりやすくできて、
テーマそのものが、このレベルだと分かりづらいです。もう少
しテーマの中身の具体例を示した方がよいと思います。

【事務局】「2、計画の概要」と「3、総合計画上の位置づけ・根拠法令等」は、マップだけだと分かりにくいというご提言から、加えさせていただきました。多くのご意見を集約したことにより、盛りだくさんな内容になってしまったと思います。

【落合副会長】結局、誰に向けてメッセージを伝えたいのか、どれくらいの知識の方を対象としているかが見えていない、皆さんの意見をごちゃ混ぜにしているから、まとまりが無くなったと思います。まず、中学生が見たときに、イラストでぱっと分かるのが1段階、そこをクリックし、問題意識がある方に向けて、深い知識を得られるのが2段階、さらにクリックして、専門知識が分かるレベルの方に向けて3段階目のページを作ると良いと思います。まずは、中学生が分かるようにするにはどうしたらよいか、皆さんで意見をもんでいけば、整理はつくと思います。

【上山委員】ぱっと見で分かりやすくしたいと私も思っています。例えば、丸い図形がだんだん星形に近づいていくようにすれば、進行具合が分かりやすいと思うのですが、パソコンで作るのは大変で。5つ星等進行具合を示すマークを使うと良いのではないかと思います。

【高崎委員】最近、町の給食センターの建設がどこまで進行しているのか調べたのですが、どこまで進んでいるのかが何も見えない。それを分かりやすくしてくれるのが、このマップだと思うので、そういうのを作ってくれるとありがたいです。

【杉下会長】すみません。ほかの議論もあるので、ここで一回閉じさせていただいていただきます。書面開催の会議も含めた2回分の意見を集約したことで、ごちゃ混ぜになってしまったことは否めないなので、次回までにイラストを入れる等のご意見を整理するというので、ここで一度閉じさせていただきます。
(3) 寒川町まちづくり懇談会(案)について、移らせていただきます。最初に事務局から御説明をお願いします。

(3) 寒川町まちづくり懇談会(案)について(資料3・4)

【事務局】-資料3・4に沿って説明-

【杉下会長】上山委員から書面提出があるので、最初に補足等あればお願いいたします。

【上山委員】開催日時は土日が良いと思います。平日にやるなら金曜の6時頃かなど。もし事前に機械のセッティング等をすれば午後のほうがやりやすいと思いました。
あと、事務局に問いかけた質問にお答えいただきたいです。趣旨のところに課題抽出から解決策の実行までを地域がやりますとあるのですが、町に意見を言って町が解決まで実際に動くのではないのでしょうか。

【事務局】まちづくり懇談会は、参加者が町長に要望をする場ではなく、地域における課題を町民と行政が共に考えて話し合い、将来的にそれを地域が中心になって解決していく事を目指す場として開いております。個々にいただいた質問に対しては、事業の所管課に照会し必ず回答を作っています。今回は今までの形ではなく、オンラインでできたらと思っております。
資料3の案では、町民センターや町長がいる役場での参加はあえてせず、会場参加の方にもパソコン等をご使用いただこうと考えております。北部、南部公民館は、役場に行くのは遠いという参加者のご意見を受け設定いたしました。
テーマは、参加者のアンケートや、町長と事務局の話し合いで決めており、町長が話したい内容というよりは、参加者が話したい内容を選定しています。令和元年度は「まちぐるみで子育てを応援しよう」「あなたと町、力を合わせてやってみたい事は？」の2つをテーマにしました。

【上山委員】今回のオンライン実施の懇談会も、解決までみんなできようという事を目指すのですね。

【杉下会長】ほかに皆さまからご意見等があればお願いいたします。半澤委員、どうぞ。

【半澤委員】各施設で参加者は何人を想定しているのですか。人数が少ないと、お金がかかり、効率が悪いので、初めに参加人数を把握すべきだと思います。

【事務局】今回の会議で、開催場所、時間、参加者数、コーディネーターのことについてもお話しいただきたいです。ただ、北部公民館と南部公民館は役場のイントラネットが通っておらず、無線になるのでパソコンではなくタブレットを使用することになると思います。Zoomを使うと、対面の会議と違いクロストークができないので、1人5分話すとして20人いると

それだけで100分になってしまうので、そういう点も踏まえて考える必要があるかと思います。

【杉下会長】ご意見、ご質問はございますか。今までは直接町長の考えを伺ったり、意見を伝える場は無かったので、懇談会をうまく活用したいと思います。昨年度はコロナの状況もあり、一度も開催をされず、今後も収束のめどが立たない状況なので、トライアル的にZoomを活用する提案が出ました。北部、南部公民館に来ていただくよりも、密にならないように、自宅等からのZoom参加に限定しても良いと思います。例えば、定員20名の2時間想定で考えると、1人1分意見を言い町長から1分の返答がくるやり取りを2回繰り返し、交代時間を入れて1人計5分。20人と考えると計100分で、残り時間20分でご挨拶や進行の流れの説明をしてはどうでしょうか。ご意見、ご感想等あれば。山下委員、どうぞ。

【山下委員】タブレットは町で用意なさるのですか。そのタブレットを何台か北部と南部のほうに置かれて、Wi-Fi等設備を整えてくださるということですね。

【事務局】役場にそれほど数多くのタブレットやパソコンがあるわけではないので、例えば、北部公民館1台、南部公民館1台用意し、発言する方はタブレットのカメラの前に行って話していただく方式をとることはできると思います。

【山下委員】大分景色が変わってきましたが、分かりました。

【杉下会長】大久保委員、今日初めてのご参加ですがいかがでしょうか。

【大久保委員】今までの経緯が分かりませんので、しばらく拝聴させていただきます。

【杉下会長】分かりました。上山委員、どうぞ。

【上山委員】まちづくり懇談会のスケジュールを見ると、1月に懇談会をやると書いてあるが、これは決定なのですか。やる事は決まっているが、時期は未定なのでしょうか。

【事務局】決定事項ではなく、推進会議の中で審議していただくことです。会長から全てオンラインにする意見もありましたが、そうでなく人を集めるとの事でしたら、町民のワクチン接種の状況も見た上で、考える必要があると思います。もし参加者をオンラインで募る場合、Zoomではアドレスを事前にお送りするので、これまでと違い広報掲載し事前予約をする必要があります。そのため、最低でも3か月は開催前から動く必要があるので、それを踏まえてスケジュールを組んでおります。

【平本委員】北部、南部公民館両方で同時にやる予定ですよ。同時にやるなら人数制限を前もってすると思うのですが。普段の懇談会では何人くらい集まるのでしょうか。

【事務局】例年は1会場十数人ぐらいです。

【平本委員】半分以下でないとできないということですね。

【杉下会長】ほかにございますか。菊地先生、お願いします。

【菊地委員】まちづくり懇談会について、推進会議も一つだと思いますが、コーディネーターが企画の責任の一端を担う事で、試験的に新たな取り組みをしてみたらどうかというご提案と理解をいたしました。杉下会長がおっしゃったような、オンラインという事を前提に、会場を設定しないやり方も一つあると思います。今まで大久保委員が参加されたような懇談会とは異なる住民の層にアプローチをするという事であれば、会場を設定しなくても良いかもしれません。あと、Zoomは、例えばまちづくりに係る広い意味のステークホルダーであれば、例えば寒川町出身で今は町外に住んでいる人や、寒川町にふるさと納税をしていただいている寄附者にもお声がけをするというような、一時的な制約が一切なくなるわけですよ。そういう事も含めて、どういうふうにやってみたら、これまでと違う人たちにアウトリーチができるのか、イメージを膨らませながら考えていく必要があると思います。あとは、参加する事が何か良い事につながるのかどうかという事も重要で、例えばアンケート、あるいは大関さんに協力してもらおう等スポンサーを付けても良いのかなと思っています。やはり参加マーケティングという、そこに関わる事が個人にとっても良い事であると良いと思います。そういったものができると、新たな懇談会の可能性を見出せると思います。推進会議は意見を言うだけでなく、実際に責任の一端を担ってやってみると、面白いかと思っています。

【杉下会長】ありがとうございます。以前、まちづくり懇談会に参加した時には、1人の方がしゃべり続けてしまい、他の人が発言できなくなってしまいました。行政の人は途中でストップと言いつらいようなので、コーディネーターを入れる必要はあると思います。オンライン、オフライン関わらず、上限人数は決めるべきだと思います。あと、大和市で子ども食堂がテーマのZoom会議に参加したら、大和から埼玉に移住したが、子ども食堂に関心のある方が参加されていました。対面だと、埼玉から大和市に来るのは難しいですが、Zoomなら参加することができます。また、鎌倉市では協働事業についての会議をZoomで行い、全員に発言していただくため、人数の上限を30人として開催していました。それでもやはりタイトで、会議内で、もう少し人数を減らした方が、慌てずに意見を言えたのではという意見も出ましたが、全ての人に発言の機会を作

れたことは意味があると思います。時間から逆算して、人数をどうすべきか、考えて作りこんだ方が良いと感じています。ほかに何かご意見等あれば。菊地委員。

【菊地委員】Zoomの場合、ブレイクルームとって、我々も授業でやるのですが、小部屋を幾つか作れますので、例えば町長からのお話の後、小部屋に各参加者に移り、そこにコーディネーターを付けてはいかがでしょう。おそらくまちづくり懇談会にて、町が期待している、参加者間での実りある議論が行われ、アイデアが創発されたりすると思います。Zoomの場合には、小部屋を作って、そこを町長が回っていく等、工夫次第でいろいろな事ができると思います。

【竹森委員】私も仕事で良くオンライン会議をやりますが、参加型会議のメリット、デメリット、また、オンラインでのメリット、デメリットがあります。コロナの状況が開催のときにどうなっているか分かりませんが、オンラインでのデメリットである、パソコンの操作が苦手、家にWi-Fi環境がない等という方が、参加したいというときに、やはり参加型でできる場所の提供も必要なのではないかと思います。以上です。

【杉下会長】貴重なご意見をありがとうございます。ほかに。落合副会長も、まちづくり懇談会もご参加されているので、その時のご感想等あれば。

【落合副会長】Zoomでやる場合のポイントは、コーディネーターの仕切りのうまさ。対面ときは皆さん、空気を読んで発言されますが、全員ミュートにした場合、コーディネーターが重要になります。杉下会長がやるのでしょうか。

【杉下会長】私がやるとは書いていません。

【落合副会長】いやいや。タイムの仕切りが本当に重要になってくると思うので、実践するのであれば、次回会議にはある程度やり方を決定しないといけないと思います。やることはすごくいいと思うのですが、コロナの時期なので。以上です。

【杉下会長】ほかにご意見はございますか。確かに落合副会長の言うように、オンラインであってもそうでなくても、全体の時間配分や発言を均等にするテクニックを熟知したコーディネーターの方にやっていただいた方が良いと思います。この懇談会に限らず、「もっと時間があればご意見伺えたのに」という最後の締めが嫌いです。それを踏まえた時間設計や進行をやらなくてはならないと思います。行政の方ははっきりノーと言にくい方が多いように感じますが、やはりノーと言い、一度区切ることも大切だと思います。平本委員、どうぞ。

【平本委員】ワクチン接種が進めば、来年1月ごろには会場で行えるかもしれないと思うので、それも踏まえて計画を立てたほうがいいのではないのでしょうか。

【杉下会長】そうですね。オンラインありきでなく、コロナの状況に柔軟に対応できるようにすべきです。コロナの状況によっては、対面方式は、安心安全の面から開催は見送りましょうというのも、一つのやり方としてあり得ますので、今年は新しい懇談会の内容や運用の仕方を、次回推進会議で精査したいと思います。今日はここで閉じさせていただきたいと思います。よろしいですか。細かいところは、事務局と私で調整して、整理させていただきまますので、よろしく願いいたします。以上で(3)はここで閉じさせていただきたいと思います。報告もこちらでよろしいですか。

【事務局】お願いします。

【杉下会長】続きまして、今度は報告案件になります。7の報告(1)みんなの協働事業提案制度(令和2年度実施事業)について、事務局から御説明をお願いいたします。

7 報告

(1) みんなの協働事業提案制度(令和2年度実施事業)について(資料5)

【事務局】-資料5に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。補足やご感想があればお願いいたします。

【半澤委員】コロナで人員もいない中で一生懸命やられている事業でしたので、少しでも選考委員会から良いアイデアが出せればという想いです。こういう時期ですので、とにかくぜひ成功するようにお祈りしながら参加しています。

【杉下会長】ありがとうございます。本当にコロナで大変な中、頑張っている地域活動の団体が多く、本年度もまた新しく手も挙がってくると聞いているので、この会議内でも随時報告し、連携をとっていきたいと思います。この報告について、なにかありますか。よろしいですかね。続きまして、もう一つの報告案件(2)会議の公開・パブリックコメント等の状況について、事務局から御説明をお願いいたします。

(2) 会議の公開・パブリックコメント等の状況について
(資料6)

【事務局】-資料6に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。最新の実施状況のご説明がありました。何かご質問等ご意見があればお願いいたします。菊地委員。

【菊地委員】前期の推進会議でパブリックコメントのフォーマットを工夫したと思います。去年、総合計画というタイミングで、件数自体も多かったという事ですが、この2ページ目の結果は、いわゆる推進会議の前期の成績表になると思うのですが、件数が例年より多かったという事を差し引いても、パブリックコメント自体の反応が良かったのか悪かったのか、推進会議自体の成績表として、優、良、可、不可で言いますとどれくらいをいただけますか。

【事務局】過去5年間のパブリックコメントの状況を確認し、去年、令和元年度は、給食センターのパブリックコメントがあったため、意見の提出件数が非常に多かったのですが、平成28年から令和2年までの5年間のパブリックコメントの提出件数だけを確認しましたところ、28年度が38件、29年度が34件、30年が18件、元年度が203件、令和2年度が76件でございました。先ほどもお伝えしましたように、令和3年度から新しい20年間の総合計画が始まった関係で、令和2年度はパブリックコメントの件数が12件と非常に多かったです。しかし、過去と比べて、件数が令和元年度は特殊な年でしたが、増えているように感じています。今後パブリックコメントをやる課においては、前期の推進会議でいただいたマニュアルをお示しし、丁寧に説明するようには努め、さらにパブリックコメントの改善に努めてまいりたいと思います。

【菊地委員】ありがとうございました。

【杉下会長】ほかにご意見。安江委員、どうぞ。

【安江委員】今回は案が決まった段階でのパブリックコメントなので、反映されている数は少ないのかもしれないですね。町民の税金で作っている何十ページとある説明資料を読んだ町民の意見を全く反映しないのはおかしいので、改善して欲しいと思います。ただの意見です。

【杉下会長】報告案件なので、これは意見としていただいて、推進会議でも、将来的にはパブリックコメントの在り方について検討する必要があるので、ご意見として事務局のほうで控えておいていただきたいと思います。

【事務局】分かりました。

【杉下会長】ほかに。よろしいですか。山下委員、どうぞ。

【山下委員】令和元年のパブリックコメントの件数は幾つですか。

【事務局】令和元年は203件です。

【山下委員】令和2年は幾つでしたか。

【事務局】令和2年は76件です。

【杉下会長】よろしいですか。

【山下委員】ありがとうございました。

【杉下会長】では、ほかにないようなので、報告(2)は終了させていただきたいと思えます。以上で議題と報告が終了したので、進行は事務局にお返しします。

7 その他(次第裏面)

【事務局】-次第裏面に沿って説明-

【事務局】正副会長と日程の調整をさせていただき、決めさせていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。

【杉下会長】なるべく早めに皆さんにご案内し、調整させていただきたいと思えます。安江委員、どうぞ。

【安江委員】最初の会議のほうでもお願いしたのですが、コロナの状況なので、懇談会を先駆けてZoomで行いませんか。

【杉下会長】ありがとうございます。事務局サイドのネット環境等、いろいろ準備等あるので、そこら辺はご意見として、次回できるのか、事務局のほうで精査してみてください。ほかに、委員さん、ありますか。なければ、もう2時間たちましたので、事務局のほうに戻して閉じていただければと思えます。

【事務局】今日は2時間にわたり、たくさんの貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。日程調整を正副会長とさせていただきますが、事前にご都合が悪い日がありましたら、御連絡いただけたらと思えます。今日は、長い時間ありがとうございました。これにて閉会いたします。

～午後5時閉会～

<p>配付資料</p>	<p>資料1 寒川町協働事業選考委員会委員の推薦について 資料2 (仮称)いまここマップ(案) 資料3 寒川町まちづくり懇談会(案) 資料4 寒川町まちづくり懇談会スケジュール(案) 資料5 みんなの協働事業提案制度(令和2年度実施事業)について 資料6 会議の公開・パブリックコメント等の令和2年度実施状況について 参考資料 第7期寒川町まちづくり推進会議委員名簿 参考資料 寒川町庁議規程(抜粋) 参考資料 意見提出書(上山委員作成)</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>竹森委員, 高崎委員 (令和3年8月16日確定)</p>